



JASDAQ

平成 24 年 2 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社 EMCOM ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 上野 良治
(JASDAQ・コード 7954)
問合せ先 執行役員経営企画部長 高森 眞子登
電話 050-3155-4370

当社連結子会社（特定子会社）株式の譲渡に関する株式譲渡契約締結のお知らせ

当社及び当社100%連結子会社であるEMCOM株式会社（本店：東京都品川区、代表取締役社長：金学敏、以下EMCOM）は、平成24年2月29日開催の取締役会において、EMCOMが保有する、株式会社EMCOM CONSULTING（本店：東京都品川区、代表取締役社長：金学敏、以下「EC」）の全株式を、株式会社外為ジャパン（以下「欄外為ジャパン」）およびプラネックスフォースシステムズ株式会社（以下「プラネックスフォース株」）の両社に譲渡すること（以下「本株式譲渡」）を決議し、同日付でEMCOM、欄外為ジャパンおよびプラネックスフォース株の間で株式譲渡契約（以下「本契約」）を締結致しましたので、下記の通りお知らせ致します。

なお、本契約につきましては、平成24年3月27日開催予定の当社定時株主総会において、本契約に関する議案について株主の皆様の承認を得ることを条件（特別決議）としております。

記

1. 本株式譲渡の経緯

当社は、平成20年3月にEMCOM株式会社を株式交換により完全子会社化するとともに、同社の子会社であった株式会社FONOX（現EC）を連結子会社化することにより、システム開発事業に新規参入致しました。その後、この株式交換等の当社による一連の決定が原因となり、当社が実質的な存続会社でないことにより、実質的存続性の喪失（不適当な合併等）にかかる上場廃止基準に抵触いたしました。（当該上場廃止基準にかかる猶予期間は平成24年12月31日までであります。）そのため、当社としては上場維持をすべく、最善の方法について熟慮を重ねて参りました。

ECを中心とした当社の金融・システム事業（以下「金融事業」）においては、当社グループはインターネットビジネスにおける金融システムの開発及びコンサルティングをコア・コンピタンスとして、それらの高度な専門性とノウハウを活用した金融サービスのレベニューシェア型ASP事業を中心に、事業の収益力強化と将来の事業価値創造に向けた取り組みを推進してまいりました。

具体的には、OTC-FX取引サービスをはじめとした金融システムの開発、コンサルティングに関する事業をはじめ、高い技術競争力とコスト優位性を生かした受託開発・BPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）・webアプリケーション開発事業等を行い、クライアント企業に提供し、各取引サービスに適した機能改善とサービス拡充を継続的に実施することで収益力の強化を図ってまいりました。

しかしながら、平成22年12月期におけるECのFX事業及び有価証券関連事業の譲渡により当社グループの収益構造に変化が生じたこと、市況の変動により金融サービスのレベニューシェア型ASP事業の業績が伸び悩んだこと、平成23年8月に施行されたFX取引におけるレバレッジ25倍規制の影響を受けたこと、またシステム受託開

発の受注時期の変更があったこと等を要因に、平成23年12月期における金融事業におけるセグメント利益は前年同期に比べ大幅な下落となりました。(対前年同期2,648百万円の減少)

当社のおかれているこれらの課題と当社の事業戦略を理解いただき、譲渡先を模索し複数の有力先と接触を重ねてまいりました。特に、今回の株式譲渡に関しては、譲渡先様にとっても歓迎されうる候補先、いわゆる譲渡先様の事業シナジーの見込める事業パートナーに対して譲渡を行うことを検討してまいりました。

こうした中、当社の現在の取引先様である(株)外為ジャパンおよびそのグループ会社であるプラネックスフォース(株)から、当社グループの今後の事業計画に対してご理解を頂き、株式譲渡の意思表示をいただきましたため、当社といたしましては同社の株式譲渡を決定いたしました。

当社グループといたしましては、韓国におきましてFX事業の展開可能性を検討すべく、その準備会社として平成23年10月にEMCOM KOREA CO.,LTDを設立いたしました。現在、今後の成長への布石として韓国を中心とした海外事業の強化に取り組んでおり、受託開発・BPO(ビジネスプロセスアウトソーシング)・webアプリケーション開発等をはじめとするシステム開発事業においては、高度な技術競争力とオフショア開発によるコスト優位性のあるサービスについてのシステム開発の拠点を韓国にシフトすることにより、今後も引き続き安定的に提供できる体制を構築してまいります。

また、今後の当社グループの事業展開として既存の金融事業及び不動産事業だけでは厳しい状況と考えられます。そのため、これまで当社のコアコンピタンスとしての位置付けであった金融事業に加え、新規事業分野の発掘・開拓を積極的に行い、新規販売チャネルの構築に努めるというテーマのもと、平成24年1月31日付適時開示にてお知らせいたしましたとおり、世界的に話題の格闘技イベント「K-1」ブランドをライセンスし展開することを開始いたしました。

今後につきましては、金融事業とエンタテインメント事業及び本日付適時開示にてお知らせいたしました旅行商品販売事業を当社グループの柱として位置付け、事業に邁進してまいります。

2. 異動する子会社(株式会社EMCOM CONSULTING)の概要

(1) 名 称	株式会社EMCOM CONSULTING
(2) 所 在 地	東京都品川区西五反田1丁目21番8号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 金 学敏
(4) 事 業 内 容	インターネットを通じた金融サービスの開発及び提供 金融サービス全般の開発受託及びコンサルティング
(5) 資 本 金	30 百万円
(6) 設 立 年 月 日	平成 18 年 7 月 19 日
(7) 大株主及び持株比率	当社 100%子会社であるEMCOM株式会社が 100%保有
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	
資 本 関 係	本日現在において、当社 100%子会社であるEMCOM株式会社が当該会社の株式 5,000 株(100%)を保有しております。
人 的 関 係	本日現在において、当社から 24 名の社員が当該会社に出向しております。また、当社役員と兼務している役員が 4 名おります。
取 引 関 係	当社は当該会社から運転資金の借入及び社内事務サービスの提供等を行っております。

関連当事者への 該 当 状 況	当該会社は、当社 100%子会社であるEMCOM株式会社の 100%子会社であることから関連当事者に該当いたします。		
(9) 最近3年間の経営成績及び財政状態 (単位:百万円)			
決算期	21年12月 (4期)	22年12月 (5期)	23年12月 (6期)
純 資 産	763	1,493	1,347
総 資 産	1,598	2,057	1,567
1株当たり純資産(円)	152,672	298,630	269,426
売 上 高	2,791	3,273	2,241
営 業 利 益	1,227	1,317	△103
経 常 利 益	1,237	1,339	△86
当 期 純 利 益	693	712	△146
1株当たり当期純利益(円)	138,635	142,506	△29,203
(10) 当該会社の平成23年12月期における経営成績			
	EMCOM CONSULTING (システム開発部門) (a)	当社23年12月期 連結実績 (b)	比 率(a/b)
売 上 高	2,241百万円	2,481百万円	90.3%
売 上 総 利 益	1,296百万円	2,098百万円	61.8%
営 業 利 益	△103百万円	△205百万円	－%
経 常 利 益	△86百万円	△157百万円	－%
(11) 当該会社の資産、負債の項目および金額(平成23年12月31日現在) (単位:百万円)			
資 産		負 債	
項 目	帳簿価額	項 目	帳簿価額
流動資産	673	流動負債	206
固定資産	894	固定負債	14
		純 資 産	1,347
合 計	1,567	合 計	1,567

3. 株式譲渡契約の相手方の概要

(1) 名 称	株式会社外為ジャパン
(2) 所 在 地	東京都渋谷区東三丁目 16 番 3 号エフニッセイ恵比寿ビル 2 階
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 中野 雄介
(4) 事 業 内 容	店頭外国為替証拠金取引
(5) 資 本 金	9億8,000万円
(6) 設 立 年 月 日	昭和46年11月16日
(7) 純 資 産	2,996百万円(平成23年12月31日現在)
(8) 総 資 産	13,809百万円(平成23年12月31日現在)
(9) 大株主及び持株比率	プラネックスホールディング株式会社(JASDAQ:6784):100%

(10) 上場会社と当該会社との間の関係	
資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。
人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。
取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。なお、ECは例外為ジャパンにシステムを提供しており取引関係がございます。
関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。

(1) 名称	プラネックスフォースシステムズ株式会社
(2) 所在地	東京都渋谷区東三丁目 16 番 3 号エフニッセイ恵比寿ビル 2 階
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 武田 知之
(4) 事業内容	ソフトウェア・コンピュータ周辺機器の設計販売 携帯キャリア向けサービスの提供等
(5) 資本金	100 百万円
(6) 設立年月日	平成 4 年 4 月 1 日
(7) 純資産	491 百万円 (平成 23 年 12 月 31 日現在)
(8) 総資産	663 百万円 (平成 23 年 12 月 31 日現在)
(9) 大株主及び持株比率	プラネックスホールディング株式会社 (JASDAQ:6784) :94.2%

(10) 上場会社と当該会社との間の関係	
資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。
人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。
取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。
関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。

4. 譲渡株式数及び譲渡前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	5,000株 (所有割合：100%)
(2) 譲渡株式数	5,000株
(3) 異動後の所有株式数	0株 (所有割合：0%)

(注) ㈱外為ジャパンへの譲渡株式数は4,500株
プラネックスフォース㈱への譲渡株式数は500株

5. 株式譲渡価額及び決済方法

(1) 譲渡価額

金 1,258,865,000 円

(注) 譲渡価額のうち 520,098,573 円については、当社グループがECに対して負担している債務を解消することに用いられますので、買主である㈱外為ジャパンから売主であるEMCOMに対して金銭の移動は行われません。

なお、上記金額 (520,098,573 円) については、実際の債権債務金額に合わせて変更される可能性があります。

(2) 譲渡価額の算定根拠

本株式譲渡にあたり譲渡価額について公平性・妥当性を期すため、第三者機関である東京フィナンシャル・アドバイザーズ株式会社 (東京都千代田区、代表 能勢元) による株価算定を実施いたしました。株式会社EMCOM CONSULTINGは株式を公開していないため、株式会社EMCOM CONSULTINGの純資産価額方式及び収益還元方式により株主価値を算定した結果、1,188百万円～1,347百万円となっております。

この企業価値評価額をもとに、将来的な収益力の見積もりや、現時点での資産状況などから評価を行い、当社と株式譲渡の相手先である㈱外為ジャパン及びプラネックスフォース㈱との間で総合的に検討を行い協議した上で取得価額を決定いたしました。

6. 日程

取締役会決議	平成24年2月29日
定時株主総会	平成24年3月27日
株式譲渡期日	平成24年3月27日

7. 今後の見通し

本契約により、平成23年12月期決算において連結損益計算書における売上高の約90%の割合を占めていた特定子会社が連結対象の範囲外となります。当社といたしましては、本契約及び平成24年2月29日付でお知らせいたしました子会社株式譲渡代金により、新規事業であるエンタテインメント事業 (平成24年1月31日付適時開示：K-1 Global Holdings Limitedの株式取得) や旅行商品販売業 (本日付適時開示：イーツアー株式会社の株式取得) に参入することにより、前事業年度を上回る売上高を見込んでおります。

8. 業績の影響

なお、本株式譲渡による当社の連結業績への影響につきましては、確定次第公表致します。

以上